

第6学年 音楽科学習指導案

○組 計 29 人
指導者 ○○ ○○

1 題材 豊かな表現

教材 「語りあおう」 劇団四季文芸部 作詞 鈴木邦彦 作曲
「ふるさと」 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲（本時主教材）

2 本時（6／6）

(1) 目標

- ア 曲にこめられた気持ちを感じ取りながら歌い方を工夫することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- イ 歌詞の内容を基に、曲の盛り上りを工夫する活動に進んで取り組むことができる。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開に当たって

子供たちが、曲の盛り上がる部分（曲の山）に気を付けて強弱の工夫ができるようにするために、楽譜に旋律線を書き込ませる活動を取り入れるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
課題把握	1 「ふるさと」の範唱を聴き、本時の学習について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 曲の盛り上がる場所に気を付けて合唱しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の山がついていると、歌っている人の気持ちが伝わってくる。 ・ 心をこめて歌っている。 	(分) ↑ 10 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲の盛り上がりに気付くことができるようにするために、曲の盛り上がりをつけた範唱と、そうでない範唱とを比較鑑賞する活動を取り入れるようにする。 ○ 曲の盛り上がる部分を楽譜の上からとらえることができるようにするために、楽譜の主旋律の部分に旋律線を書き込む活動を取り入れるようにする。
課題追求 表現の工夫	2 歌い方の工夫をする。 (1) 曲のどの部分に山をつけたらいいか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この曲には大きく二つの曲の山がありそうですね。 ・ 曲の山を目立たせるために、他の部分をもっと小さく歌うといいね。 (2) 話し合ったことを基に、強弱の工夫をする。 (3) 曲の山にこめられた気持ちについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 故郷の山や川が懐かしいんだろうなあ。(1番) ・ いつか帰りたいという決意が伝わってくるようだ。(3番) 	↑ 30 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 強弱の工夫をもっとつけさせるために、「曲の山を強くするほかに、もっと盛り上がりを強調できる演奏の工夫はできないかな」と問いかけるようにする。 ○ 曲の山にこめられた気持ちを考えることができるようにするために、作詞者の故郷の様子や生い立ち、また作詞者が歌詞をつくったときに置かれていた状況などについて話し、歌詞に対するイメージを膨らませるようにする。 ○ 他の友達の工夫のよさを発見し、認め合うことができるようにするために、お互いの合唱を聴き合う活動を取り入れるようにする。
相互発表・鑑賞 まとめ	3 お互いの演奏を発表する。 4 本時の学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この曲にこめられた気持ちがよくわかりました。 ・ 曲の盛り上がる場所に合わせて、強弱を工夫できました。 	↓ 5 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習を振り返ることができるようにするために、わかったことやできるようになったことを発表させるようにする。